

令和7年度第2回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その1

議員名	件 名	要 旨
1 千葉 加代子	1. 避難計画について	① 本町の「個別避難計画」の要支援者数と策定済み人数は。 ② 策定した計画は消防や社会福祉協議会と共有する必要があるが、連携はどうなっていますか。
	2. 日本語学習支援について	① 本町の外国籍の住民の数は。 ② 日本語を母語としない子どもの支援は。
	3. 介護保険の支援について	① 介護保険の福祉用具購入の限度額は。 ② 市町村特別給付がありますが、本町の現状は。
	4. 支援学級について	① 本町の小学校の支援学級の児童・生徒の状況は。 ② 中学卒業後の進学先等将来の動向は。
2 山下 美穂	1. 福祉課の支援について	① 生活保護の申請に必要な書類等について及び申請から受給までの大まかな流れについてお尋ねします。（大体の日数も含む） ② 障がいのある方への支援について （1）手帳申請時に必要な書類等についてお尋ねします。（更新時も含む） （2）手帳を取得したのちに行政や民間企業等からどのような支援があるかお尋ねします。 ③ 個人情報保護の観点から専用窓口を設置する必要性についてお尋ねします。 ④ 障害者手帳の認定後、医療機関等との連携についてお尋ねします。
	2. 町営住宅の入居について	① 町営住宅入居に必要な条件はどんなものか。特に収入要件については、町民の方にはわかるように教えてください。 ② 入居申し込みのときに必要な提出書類を教えてください。 ③ 入居条件は法令で決まっているのですか、それとも条例で定められているのかお尋ねします。 ④ 必要書類の中に「滞納のない証明書」が入っている理由についてお尋ねします。

令和7年度第2回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その2

議員名	件 名	要 旨
3 手嶋 真由美	1. 住民サービスの向上について	① 本町の月平均の来庁者数、訪れた窓口で多い所はどこか。 ② 総合案内では、ほとんどが一人で業務をしており、電話対応をしているときは窓口の対応ができない。電話は別の方が取ることができないか。 ③ 役場の玄関を入れて右側に庁舎の配置図は提示されているが、気づかない方が多く、各課の窓口もわかりづらい。住民目線で見やすくわかりやすい窓口への改善策はないか。 ④ 川崎町もコンビニでの決済や住民票などの申請ができるようになり、役場に来なくても手続きができるようになった。今後は、より利便性を高め「書かない窓口」への推進計画はどのように進めていくのか。
	2. 緊急時の安全対策について	① 本町の公共施設の AED のうち、屋外に設置されている所はあるか。 ② 現在設置されている AED のうち、主に学校や B&G など休日や時間外の使用をしている場所では AED の屋外移設が必要だと考える。 ③ 児童生徒を含む AED の講習会は考えているか。 ④ 早くも熱中症患者が増加をしている、クーリングシェルターの設置についての考えを聞く。
	3. ゴミ出し関連について	① 「さくら環境センター」の稼働に伴い、ゴミ出しの収集方法が変更となったが、まだ慣れていない方も多くいる。分別ができていないごみは、シールを貼られていつまでも放置をされている。行政区や組の方も努力されているが、なかなか改善されていない。打開策はないか。

令和7年度第2回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その3

議員名	件 名	要 旨
3 手嶋 真由美	3. ゴミ出し関連について	② カン・ビンの袋が緑色で同じ。分別のための色分けの予定は。 ③ さくら環境センターへのごみの搬入には、「ごみ搬入申請書」が必要で役場の印鑑を押してもらわないといけない。申請書だけではだめか。
4 杉本 数政	1. 火災現場の片付けについて	① 火災現場で出た物はどこで処理するのか。 ② 町としての罹災者への支援の有無。
	2. 消防格納庫について	① 格納庫の現状の把握はできているか。 ② 古い格納庫について、今後、建て替えの検討は。
5 寺田 響	1. 教育施策について （子どもの居場所）	① 現在、子どもに関する課題は複雑化、複合化している。児童虐待相談件数、不登校児童生徒数、児童生徒の自殺者数が増加傾向にあり、その原因は一つに特定することができません。そうした現状を踏まえたうえで、今後の子ども政策の基本理念は「全ての子どもが、安全で安心して過ごせる多くの居場所」を持つことが求められます。また、こども家庭庁は子どもの居場所について、図書館は全ての子ども、若者を対象とした居場所であると述べている。公共図書館が居場所としての機能を持つことにより、子ども達は安心して過ごすことができ、自由に学ぶことができる場所と機会を得る。子どもが一人でかつ無料で滞在することが許され、利用者の秘密を守る図書館は、居場所としての要素が備わっている。そのため、図書館はその役割を果たす責任があると考えます。しかし一方で、図書館は公共の場所であり静かに本を読みたい・探したい方がたくさんいます。そういう方にとっては子どもの叫び声、集団でのおしゃべりの声は邪魔になります。川崎町立図書館（パピルスホール）でも同様な問題が起きています、図書館の今後について教育長の考えを伺います。

令和7年度第2回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その4

議員名	件 名	要 旨
5 寺田 響	1. 教育施策について (子どもの居場所)	② 令和5年10月31日(木)発表の「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると福岡県は小学生 7328 人(全国5番目)、中学生 10820 人(全国7番目)になります。不登校が長期化すると、学業の遅れが大きくなり、高校卒業やその後の進路に影響を及ぼす可能性があります。また、学校という社会との接点がなくなることで、コミュニケーション能力が低下したり、孤独感を深めたりするなど、精神的な問題を抱えるリスクも高まります。不登校は毎年増加傾向にあり町の重要課題であります。また、令和5年4月こども家庭庁が発足、こども基本法が施行されました。背景として、児童虐待やいじめ、不登校等子どもを取り巻く状況が深刻であることが一因のためです。川崎町においても平成18年策定された(子どもの権利条例)では、官民一体で子どもたちの問題に取り組むとされています。特に川崎町では小学校中学校における不登校児童の多いことが懸念されます。地域、社会、大人の力を合わせ、未来の担い手である子どもたちの育ちに全力で取り組む時が来たのではと思います(居場所づくり地域づくり)が必要と考えますが、不登校対策について教育長の考えを伺います。
6 松岡 久代	1. 通学路安全確保について	① 危険箇所の把握の対策を問う。 交通量の多い道路を横断するときは危険を伴う。通学路にある横断歩道に児童・生徒が使用できる横断中を示す黄色の旗を設置できないか。
	2. 中学生の海外研修について	① 川崎町でも中学生を対象に海外研修の実施ができないか。異文化を知るためにも未来ある子どもたちに夢と希望を育むときを望む。

令和7年度第2回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その5

議員名	件 名	要 旨
7 政時 喜久美	1. 町内地区消防第7分団の格納庫の建て替えについて (町長)	① 地区消防第7分団格納庫を解体してから建て替えができてないことについて問う。
	2. 「道の駅」建設に関する設計・事業費、用地買収費等の積算内訳について (町長)	① 令和6年度までの設計・文化財調査費・用地買収費等町が支出した総額を問う。 ② 「道の駅」の実施設計内容を問う。 ③ 令和7年度以降の事業完成までの概算事業費総額を問う。
	3. 公金の不明金について (教育長)	① 令和5年12月13日に社会教育課内で施設使用料が紛失した事件から約1年6カ月が経過しましたが、田川警察署の捜査はどうなっていますか。また、窃盗で盗難届を提出していると答弁していますが、町として職員を刑事告発する考えはあるか。
8 櫻井 英夫	1. 交通安全対策について (町長) (教育長)	学童の交通事故死は小1生が最多との報道がある。幼保時代は自家用車、バス送迎で交通事故リスクは小さいが、小学校入学後は自分の足で登下校し事故リスクが格段に高まる。長期休み中の交通事故リスクしかり。浜松市等での児童死亡事故は記憶に新しい。 ① 学童、生徒に対する交通安全対策はどのようなになっているか。 ② 学童等が自転車で道路を通行する際、ヘルメット装着は徹底されているか。 ③ 町主体の交通安全推進ボランティア養成の考えはないか。交通安全協会と町の連携はどうなっているか。

令和7年度第2回川崎町議会（6月定例会議）一般質問通告一覧表

その6

議員名	件 名	要 旨
8 櫻井 英夫	2. 豊前川崎駅周辺の 再開発について (町長)	跨線橋がらみで15億円弱の投資がされたが、駅周辺はますます寂れる傾向にある。JRの駅無人化方針により豊前川崎駅も対象になったが、一般財源を投入して町雇用の駅員を置いている。 ① 現在の体制で10年経過した。現状認識と今後の展望を尋ねる。 ② 駅裏はほとんど有効利用されていない。民間アパートの誘致に活用すべきではないか。 ③ 構内タクシー前の県道改良が進まない。例えば、その県道と跨線橋と帰属交換し、町道にして改良工事を促進すべきではないか。 ④ 駅周辺再開発プラン策定を提案するがどうか。
	3. 太田城山地区開発 について (町長) (教育長)	子ども議会での要望を受け、町制80周年記念事業として太田城山地区に児童遊園が整備されたが、災害を被り休眠状態である。その後、De・愛周辺に児童遊園が整備され充足されているが、焼却場跡地と城山エリアの再利用を考える必要がある。 ① これら遊休財産の活用方針を尋ねる。 ② 城山山頂部城跡の学術調査は実施されたか。 ③ 城址公園整備構想はどうなったか。